

## 三上山の眺望への影響について

三上山への眺望に対し、計画建物による影響が考えられる範囲について、検討を行いました。次ページの図を参照ください。

## ○検討方法（図作成方法）について

## ①前提条件

- ・計画建物、えんまどう公園付近の標高（地盤面）は約 100m となっています。
- ・三上山山頂は標高 432m ですので、地盤面からは約 332m の高さとなります。
- ・計画建物については、地盤面から 100m の高さとなります。

## ②平面図

- ・周辺の建物等に遮られるため、三上山の標高 200m 以上（地盤面から 100m 以上）の部分が見えているものとししました。（えんまどう公園からの写真では、実際にはより高い部分しか見えていないと考えられます。）
- ・計画建物より西で、緑の点線で挟まれる区域では、三上山の一部が計画建物により遮られます。（緑の点線は、三上山の北端と計画建物の南端、三上山の南端と計画建物の北端をそれぞれ結んだ直線。）
- ・緑の一点鎖線のより外側の区域（北川または南側）では、計画建物と三上山は、三上山の横幅の半分程度の距離離れて見えることとなります。

## ③断面図

- ・三上山から計画建物までの距離は約 3.6km、えんまどう公園までの距離は約 4.8km となっています。
- ・えんまどう公園からは、三上山山頂より計画建物が高く見えます。
- ・三上山から西に約 5.2km の距離で、三上山と計画建物の見かけの高さがほぼ同じとなります。
- ・三上山から西に約 7.2km（計画建物から約 3.6km）まで離れると、三上山の標高 300m（地盤面より 200m）の高さと計画建物の見かけの高さがほぼ同じとなります。（標高 300m 以上の部分は計画建物により遮られない）。

## ○検討結果

- ・計画建物より西、3.6km 程度までで、緑の一点鎖線に挟まれた区域では、計画建物の設置が三上山への眺望に影響を及ぼすものと考えられます。
- ・この区域については、方法書以降において、調査地点配置等を検討し、より丁寧な調査・予測・評価を実施します。

